

(添付3)

私(T)と日経新聞社とのやりとり

1月26日午後 Tが日経本社読者センター担当員に抗議の電話(1時間50分)

(担当者)「訂正記事でよい」とこちらの言い分を全く聞かない。

1月27日午後 販売店に、(T)「日経本社の対応が悪い。販売店から日経本社上層部がしっかり対応するようお願いしてほしい。」

(販売店から返事)「日経本社に連絡したが、本社はそのような電話を受けていないとのこと。」

1月28日午前 再度読者センターに電話、女性が対応(36分)

(女性担当者)「貴方の言っていることは全てその通り。ぐうの音も出ない。経営者が対応すべき内容。全てを上司に報告する。」(後日、他の担当者にも聞いてみましたが同様な意見です)

1月28日午前 根本読者センター長から電話

(T)「社長宛の手紙を持参する。その際私の話も聞いてほしい。」

その後で電話での打合せで、2月1日13:00時に日経本社を訪問することになった。

2月1日13:00~14:50 TとTの家内が社長宛手紙を持参し日経本社を訪問、打ち合わせ

日経のメンバー 編集部調査部 読者センター長 根本正一
担当部長(紙面審査委員会) 上嶋光貴

(T)「直接社長にこの手紙を渡してほしい。」と言って持参の手紙を渡す

Tが手紙に従って「問題点指摘」と「質問及び要求事項」の内容を説明

(T)「手紙に記載した質問及び要求事項に対し、社長から文書での回答を要求する。社長との面談を要求する。」

(根本)「両件とも、一両日中に返事をする。」

2月3日11:00 根本センター長に電話(30分)

(T)「返事が来ないが、どうなったのか。」

(根本)「まだ出来ていない。こちらから、“しばらく時間をもらいたい”と連絡しようと思っていた。」

(T)「何故そんなに時間がかかるのか。簡単なことではないのか。」

(根本)「自分が決めることではないので。重大な問題と認識しているし、謝罪会見をやるかなど、全てに答えようとする時間がかかる。」

(T)「問題指摘1.の事実関係の正否などについてはすぐに答えられるはず。まずは、答えられるものだけで結構なので、明日13:00に中間報告をしてほしい。」

(根本)「了解した。明日13:00の電話を待ちます。」

2月4日 13:00 根本センター長から電話にて以下の回答

(根本)「社長は会わない。」

(T)「何故、会うことができないのか、理由を教えてください。」

(根本)「理由は言えない。」の一点張り

(根本)「“質問及び要求事項”については、回答を文書で出すことになった。」

(T)「回答文書では項目毎に回答されているのか。」

(根本)「そうになっているはず、最終的にどうなったか自分には分からない。」

(T)「手紙は既に出されたのか。」

(根本)「よくわからない。出されたのではないか」

2月5日 13:30 差出人 読者センター長 根本正一からの手紙受領(添付5)

質問及び要求事項に全く答えていない。

差出人は根本とあるが、根本氏自身は知らなかったと思われる。